



奉祝立教90年 第172回 春季大祭

新たな心をもってよりよい明日に向かう

奉祝立教90年記念事業の外構工事が完了し、装いも新たに整った御霊地にて第172回春季大祭が開催された。5月8日には大祭奉告祭と本祭式典、12、13両日には大祭式典が行われ、参列した全国会員代表は万物万霊に感謝の祈りを捧げると共に、本会を支えてこられた先人先覚者に感謝の誠を捧げた。



入場行進にて新支部長らが力強く先頭を歩んだ

穏やかな晴天となった5月8日、午前9時30分より大祭奉告祭が行われ、長老さまをはじめ本部理事参与以上の役員が参列した。続いて五智如来堂にて長老さま導師による「万部御法楽」が営まれ、その後、太神社殿前にて本祭式典が執り行われた。続けて今回は、太神社殿前にて立教90年記念事業となるお山外構工事の竣工式が、工事関係業者も参列して厳かに行われた＝写真右。

大祭式典は、12日は晴天、13日は早朝から恵みの雨を頂く中、開式となり、鼓笛隊を先導に入場行進がスタート。

支部旗入場では、6名の新支部長が力強く先頭を歩んだ。

第1部式典は厳かに進み、おみたま櫃奉迎安置の儀では、奉祝記念として新たに用意された情緒豊かな曲(杉本龍之専門員作曲)に合わせて行進。さらに両日共に色あざやかな和服に身を包んだ女性部と女子青年により献供の儀が行われた。

万霊大供養では、万物万霊に対する供養

と共に、特に節目の年の今回は、立教より本会を支え、ご苦労された先人先覚者に対し真心込めた供養が般若心経三巻をもって捧げられた。

長老さまから御霊地に参拝することの尊さについてご挨拶を頂いた後、式辞に立った渡辺孝彦理事長は、「昨日までの自分自身を縛っていたこだわりや囚われをさっぱりと捨て去り、新たな心をもってよりよい明日に向かって手を取り合い、力強く歩み始めよう」と訴えた。

来賓代表の祝辞では、現王園孝昭北本市長が、日頃の北本市に対する本会の支援・協力への謝辞とともに地元・北本の行事や取り組みを紹介された。13日は新宗連の保積秀胤理事長(大和教団教主)が信仰の大切さを語り、日本のため、国民のために頑張っていきたいと述べられた。

第2部直会は、長老さまはじめ来賓各位による鏡開き、乾杯で始まり、賑やかなこども山車がお山を練り歩いた。

奉納演芸では、12日は埼玉教区による



解脱音頭、13日は初めての試みとなる東京第3教区と滋賀教区合同による「よさこいソーラン節」を有志70名が披露し、解脱錬心館の少年剣士の力強い演武と続いた。また両日共に2組のアコーディオン演奏と歌手のペアがお山内を披露して回り、温かな拍手が上がった。そして青年部からはスタディツアーの報告と共に、お山内テントではまごころ募金が行われた。

解脱研修センター4階では来賓直会が行われ、来賓代表の衛藤晟一参議院議員が祝辞を述べ、大島敦衆議院議員が乾杯の音頭をとられた。

お山内では、奉祝事業による工事で広くなった参道を喜ぶ会員の声が聞かれた。

写真で見る春季大祭



現王園北本市長と保積新宗連理事長より祝辞を賜った



萬霊魂祭塔の前で万霊大供養を厳修



青年部役員がおみたまひつを奉持し歩む



会場一体となって真心の祈りを捧げる



渡辺理事長が力強く式辞を述べる



長老さまが導師となり万部御法楽を執行



女子青年が恭しく生花を捧げる



鏡開きで第2部の幕が開ける



来賓直会会場にて乾杯



スタディアーメンバーによる募金活動



鼓笛隊が大祭を盛り上げる



滋賀教区と東京第3教区が合同で披露



お山随所でアコーディオン演奏と歌を披露

大祭にて支部認証式を執行

5月12日、第172回春季大祭式典に先立ち、午前9時15分より支部認証式が解脱研修センター3階・お浄めの間に厳粛に行われた。

今回は名誉支部長1名と継承支部長6名が認証された(下

記を参照)。

認証式は、長老さまから名誉支部長、支部長認証された後、渡辺孝彦理事長より辞令が手渡された。

長老さまは支部長の役目について、「神の心を心として真

の人間になり、真の生活をし、真の人間を育てる役目がある」と述べられた。続いて渡辺理事長は、金剛さまがおられたら、どんなご指導が頂けるのかをいつも考慮して行動することが大切とし、



健康で家族仲良く明るい支部になるように心掛けてほしいと激励した。

名誉支部長



東京5・下谷支部
松本 文人

継承支部長



甲信・松本笹部
西郷 波満子



甲信・甲府塩部
長田 かおる



甲信・山梨下吉田
山本 裕司



茨城・茨城小田
飯塚 義康



東京2・北赤羽
清水 貴幸



京都・京都東山
谷 富貴子

新支部長研修・フォローアップ研修

支部長となるための心構えを学ぶ

4月28～29日、解脱研修センターにおいて新支部長・フォローアップ研修が行われ、新支部長6名及び就任5年目となる支部長4名が参加し、お役目の自覚を新たにしました。

まず西村晴雄教務局長が開詞一番、「支部長は人づくり家づくり国づくりのため人心救済にお使いいただく重要な役目」と強調。続いて渡辺孝彦理事長が、「支部の尊さと支部長の心得」について、会員や近隣から素晴らしいと思われる家庭づくりを目指すことなどを示した。

飯田俊郎常任理事からは、秩父中村支部長としての体験に基づいて「支部長の役目」についての講話があり、木村正則

常任理事は、「感謝会の意義と重要性」について分かりやすく伝えた。

「金剛さまにお会いする」をテーマに解脱金剛記念館と宝物館を拝観した後、研修センターに戻り、大賀光夫修法部長より「御五法修業の目的と心得」の講話を受け、続いて各グループに分かれて実修が行われた。夜の懇親会では新支部長らがこれからの抱負を発表し、互いに励まし合う温かな拍手に包まれた。

翌朝午前6時よりお山参拝とお役目完遂祈願のお百度に始まり、松田佳高布教部長から「諸札の意義と心得及び扱い方」



について、西村局長から「活動方針と六大行事」についてそれぞれ講話を受けた。

続いて新支部長と就任5年目の支部長に分かれて支部運営上の不安や悩みなどを解消するための時間を設け、最後に渡辺理事長の激励の挨拶をもって終了となった。

健康学園コース

社会で活かすために

第155回健康学園コースが4月21日～22日、御霊地・解脱研修センターにて開催され、研修生、講師、スタッフ含め106名が集った。

午前10時に開講。小田敏郎相談役が激励の挨拶を述べた後、解脱3分間体操を磯崎剛一健康指導委員のもと学んだ。

その後、西功義布教本部員より、「身体づくり(身体強化)」をテーマに、腰の筋肉を柔らかくする体操法の実習があり、宮坂保徳教育部長は、「み教えと健康指導」というテーマで講話を行った。

続いて、社会貢献活動の1つとして、



応急手当(心肺蘇生法、AEDの使い方)について寸劇を通して学び、実習を行った=写真左。午後は3つのグループに分かれ、健康総合指導として「体位矯正法」「足心道・掌心法」「応急手当」の3つの教室を順番に回り、実生活で活かせるよう指導を受けた。

2日目は、まず「足もみ活動のすすめ」と題して堀川剛史教育部主任が被災地で



の体験講話を述べた。矯正法と足心道のクラス別学習の後、外部講師・宗像久男先生から、「ガンをなくす食事法～笑って笑って治そう!～」をテーマに「癌患者は体温を上げてバランスの取れた食生活をするのが重要」と明るく笑いと熱のこもった講話があった=写真右。

充実した研修を受けた参加者は、実生活に活かすことを誓い合い帰路に着いた。

愛知教区・女性大会

初の女性大会を開催



4月22日、愛知教区では熱田神宮において初の女性大会を開催。本部より中西好子指導員が出講、小学生2名を含む総勢39名が参加し、御祭神である熱田大神の威神力を頂き、奉祝立教90年の記念大

第162回 海老名萬霊魂祭塔春季大祭

行事の重要性を再確認

神奈川・海老名萬霊魂祭塔前において「第162回海老名萬霊魂祭塔春季大祭」が、解脱会本部主催、神奈川教区主管の下に4月22日正午より開催された。本部より木村正則指導員が出講、地元の神奈川教区をはじめ、縁ある東京、静岡の支部長、会員など120余名が参加し萬霊に感謝の誠を捧げた。

祭に向けて女性部同士の志気を高めた。

まずボランティアガイドによる説明を受けながら神社内の各所を見学した後、清浄な空気の中で御垣内参拝を行った。



大祭は、女子青年が生花、女性部が天茶を萬霊魂祭塔に捧げた後、福井恒明神奈川教区長の諷誦文奏上=写真=、焼香、天茶供養厳修と続き、木村指導員の講話から当大祭の重要性を再確認した。

続いて、熱田神宮会館にて中西指導員の講話から教えを実践する大切さを胸に刻み、女性の特性を生かしながら奉祝の年を意義あるものにしようと誓いあった。

滋賀教区・家族スクール

食物へ感謝し田植えを体験

滋賀教区では家族スクールのテーマに「命（食物）を大切にする」を掲げ、稲作体験を実施。その第1弾である「お田植え祭」を長浜神前支部幹事所有の田んぼにて4月29日に開催し、子供50名を含む120名が田植えに挑戦した。まず、太田豊地教区長が大

使用する田んぼへ天茶の撒き供養を行い、田植えを開始。ほとんどの参加者が初体験という中、素足で田んぼの感触を味わいつつ苗を丁寧に植えていった。はじめは足を取られていたもののいつしか慣れ、大人より早く植える子供の姿も見られた。当教区では今後、6月に草取り、9月に収穫祭を予定しているとのこと。



東京第7教区・教区の集い

テーマは「教区は大きな家族」



東京第7教区では4月29日、若葉そよぐ御霊地にて「教区の集い」を開催、170余名が参加し大盛況となった。本行事は、大祭前の清掃奉仕で教区が一堂に会する好機であることから交流を深める目的で、「教区は大きな家族」をテーマに6年前より始められた。清掃奉仕終了後、午後より鼓笛隊演奏に始まり、武笠一男教区長挨拶、解脱金剛

宝物館の小林彰二次長の解説、大抽選大会など充実した企画が用意された。また、中央棟1階で女性部の模擬喫茶店、2階で健康指導担当による足心道と体位矯正法、お山ではこども会と青年部の共催でレクリエーションが催され、参加者は各所を自由に巡り楽しんだ。尊い御霊地に身を浸しながら、教区が心一つに喜び合う一日であった。

岐阜関ヶ原支部・春季怨親平等大供養祭

「皆さんが主催者」合言葉に

4月15日、岐阜関ヶ原支部による春季怨親平等大供養祭が執り行われた。今回より「皆さんが主催者です」を合言葉に、積極的に地元地域への布教活動を展開。地元住民や親類縁者も



献供の儀にお使いいただく子供たちと女性会員ら

参加しやすいよう、供養方法や式典内容についても検討が重ねられた。当日は小雨が降る中、大勢の参加者が集い、午前11時開式。表白文奏上に続いて行われた献供の儀では、会員と地域住民らが協力し、子供たちの手で生花が、女性たちからは天茶とお茶が献じられた。その後、真心から般若心経三巻の天茶供養が厳修された。安田信二支部長は挨拶の中で、関ヶ原合戦に参加した先祖を持つ米国会員の方から、

今も供養が続けられていることへの感謝を受けたことを紹介。最後に「本日は皆さんが主催者となり、共々にさせていただいた大供養です。今後皆さんと共に徳積みをしていただきます」と締めくくった。小雨もあがって陽の光が降り注ぐ中、閉会。その後は景品付きの紅白の餅撒きに大いに盛り上がった。また当日は天茶接待があり、「美味しい」と多くの方に喜ばれ、水筒に入れて持ち帰る方も見られた。

第15回教区選抜 実践作文コンクール

☆テーマ 挨拶(あいさつ)

作文の「題」は自由です。
日常生活の中で、「挨拶」をした時、された時、されなかった時、してもらえなかった時の気持ちを素直に作文にしてください。

応募対象

本会会員子弟 (小学生)

締め切り

各支部、教区にお問い合わせください

原稿枚数

各作品 400字詰め 原稿用紙 3枚以内

応募要項

低学年(1・2年) 中学年(3・4年) 高学年(5・6年)に分けて各教区で選抜し、各学年の最優秀作品1部(計3部)をご応募ください。

発表/表彰式

11月28日(水)
第138回
『解脱金剛御生誕祭』

お問い合わせ
解脱会布教部

TEL 03-3353-3706

※ 詳細は6月度本部通信をご覧ください。